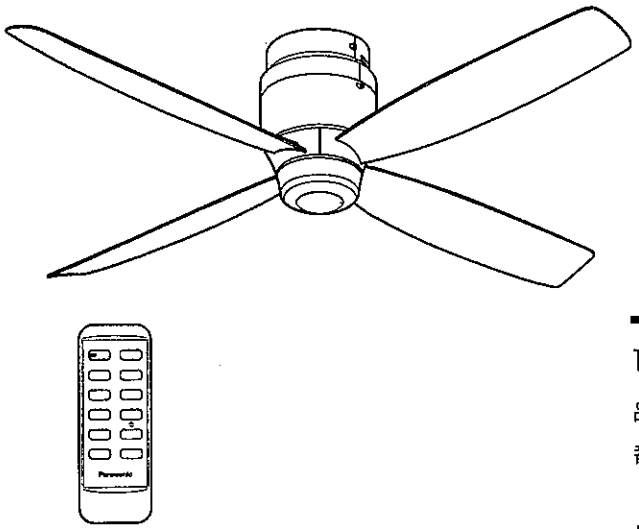


Panasonic

施工説明書
シーリングファン

110センチ シーリングファン

品番 SP7070
（ホワイト）

品番 SP7072
（シルバーメタリック）

品番 SP7073
（金色古味）

90センチ シーリングファン

品番 SP7075
（ホワイト）

品番 SP7077
（シルバーメタリック）

品番 SP7078
（金色古味）

製品を安全に設置し
お使いいただくために、
この施工説明書をよく
お読みのうえ、施工手順
に従って工事を進めて
ください。

もくじ

ページ

●安全上のご注意 …… 2
●各部のなまえと付属品 …… 4
●取り付けるまえに …… 6
1.リモコンについて …… 6
2.本体の取り付け場所を決める …… 7
3.壁スイッチを設置する …… 7
4.取付面の強度を確認する …… 8
●本体を取り付ける …… 9
1.取り付けかたを決める …… 9
2.取付金具を取り付ける …… 10
3.本体に羽根を取り付ける …… 13
4.本体に羽根カバー、受信カバーを取り付ける …… 13
5.引掛シーリングキャップを取り付ける …… 14
6.本体をつるす …… 14
7.フランジを取り付ける …… 16
●ランプ切換スイッチについて …… 17
●取り付け後の点検 …… 18
●外形寸法 …… 19
●仕 様 …… 裏表紙

お客様への取り扱い説明

取扱説明書に基づいて製品の取り扱いを説明してください。そのあと、施工説明書と取扱説明書を一緒にお客様にお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

■絶対に改造しない

分解禁止

感電・発火したり、落下して、けがなどのおそれがあります。

■交流100V以外では使わない

禁止

過熱して、火災や感電のおそれがあります。

■施工は説明書に従い、確実におこなう

不備な施工は、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

・施工は電気工事士の資格者がおこなってください。

■施工は必ず電源を切ってからおこなう

不意に作動してけがをしたり、感電のおそれがあります。

■配線ケーブルを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

禁止

痛んだまま使用すると、感電・ショート・火災のおそれがあります。

■重量に耐えうる場所に確実に取り付ける

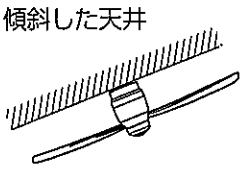
取り付けに不備があると、落下によるけがのおそれがあります。

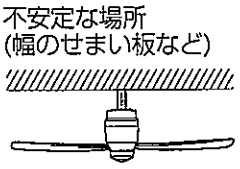
・天井の補強確認は工務店にご相談ください。

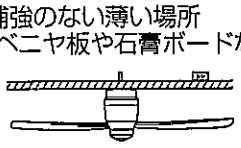
■こんな場所には取り付けない

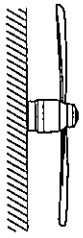
禁止

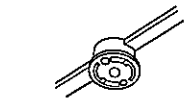
この器具は天井面取付専用です。
指定場所以外に取り付けると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。











⚠注意

■ガスレンジなど炎の近く、引火性のガスのある場所に取り付けない

禁止

炎の立ち消え、引火、爆発やショートして、火災・感電のおそれがあります。

■取り付け・配線工事は販売店または電気工事店に依頼する（設置工事は電気工事士法・電気設備技術基準に従って確実におこなう）

誤った工事は、漏電して、感電・火災のおそれがあります。

■温室・浴室など高温(40℃以上)、多湿(スチームの発生する場所など)になる場所には取り付けない

水場使用禁止

この器具は非防水です。
漏電して、火災・感電のおそれがあります。

■油、ホコリの多い場所には取り付けない

禁止

引火やショートして、火災・感電のおそれがあります。

■振動や衝撃の大きい場所に取り付けない

禁止

落下してけがのおそれがあります。

■薬品のある場所、酸、アルカリを使う場所には取り付けない

禁止

変形・変質により落下して、けがのおそれがあります。

■付属のワイヤーは必ず取り付ける

落下してけがのおそれがあります。

■万一、羽根が壊れたときは、全部取り替える

異常振動により、落下してけがのおそれがあります。

・羽根の交換は4枚セットでおこないます。

■調光器と組み合わせて使用しない

調光機能付壁スイッチなどの調光器と組み合わせて使用しないでください。

禁止

火災の原因になることがあります。

・調光器の取りはずしが必要です。調光器の取りはずしには資格が必要です。工事店・電気店に依頼してください。

■直接、風のあたる場所に取り付けない

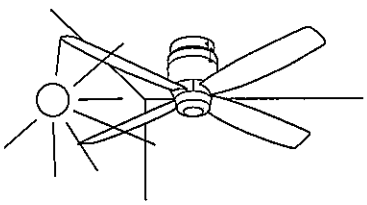
禁止

落下してけがの原因になります。

お願い

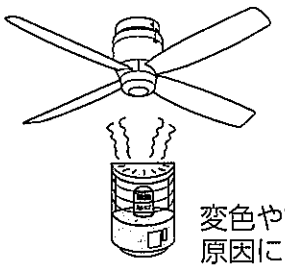
■次の場所には取り付けないでください。

・直射日光の当たる場所



樹脂部分の変色や変質の原因になります。

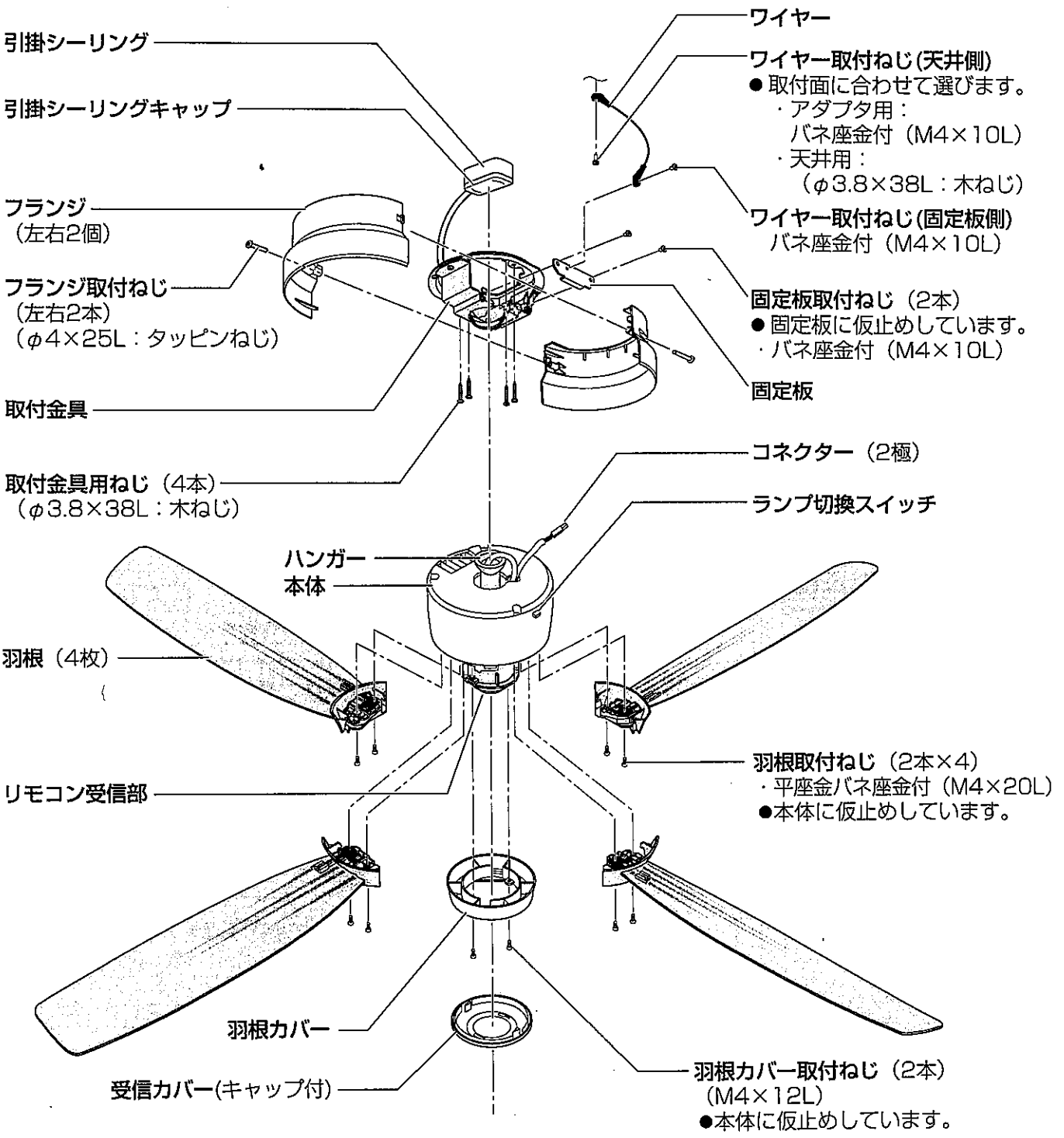
・熱気や温風のあたる場所



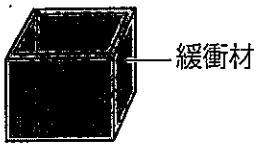
変色や故障の原因になります。

各部のなまえと付属品

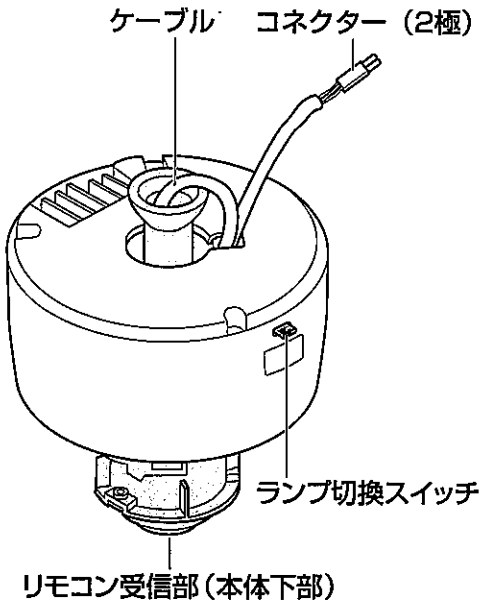
展開図



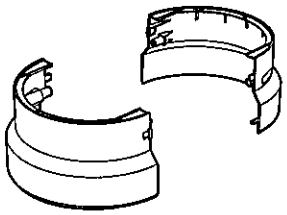
■緩衝材(本体保護用ダンボール)
羽根を取り付けるときに使います。
(13ページ)



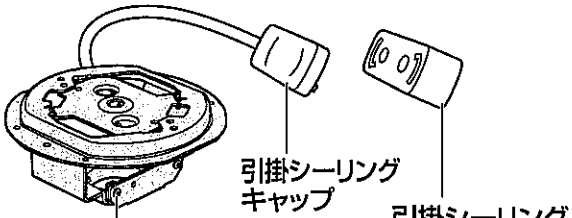
■本体



■フランジ
（左右2個）

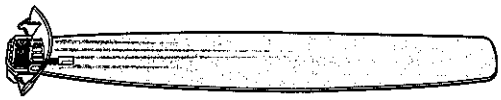


■取付金具（1個）

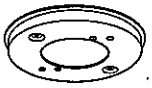


固定板取付ねじ(2本)
・バネ座金付（M4×10L）

■羽根（4枚）

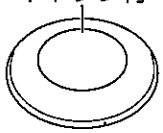


■アダプタ（1個）



● 引掛ローゼット取付用

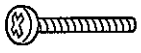
■受信カバー（1個）
キャップ付



〈付属品・ねじ袋の中身〉

■リモコンホルダー取付ねじ
（φ4×16L：さら木ねじ）(2本)

■フランジ取付ねじ
（φ4×25L：タッピンねじ）
(2本)



■引掛シーリング取付ねじ
（φ3.8×38L：さら木ねじ）(2本)

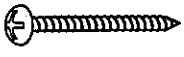
■ワイヤー

■取付金具用ねじ
（φ3.8×38L：木ねじ）(4本)

■ワイヤー取付ねじ（バネ座金付）
（M4×10L）(2本)

● アダプタ用　●固定板用

■ワイヤー取付ねじ
（φ3.8×38L：木ねじ）(1本)



● 天井用

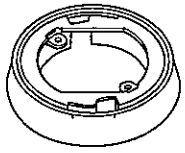
■アダプタ用小ねじ（平座金バネ座金付）
（M3.5×12L）(2本)

● 引掛ローゼット用

■取付金具用小ねじ（平座金バネ座金付）
（M4×12L）(2本)

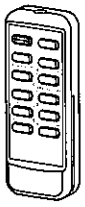
● アダプタ用

■羽根カバー（1個）

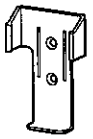


〈付属品・リモコン〉

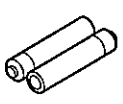
■リモコン（1個）



■リモコンホルダー（1個）



■乾電池（単3形）（2個）



取り付けるまえに

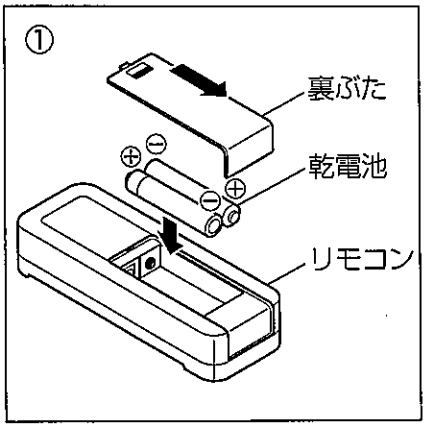
1 リモコンについて

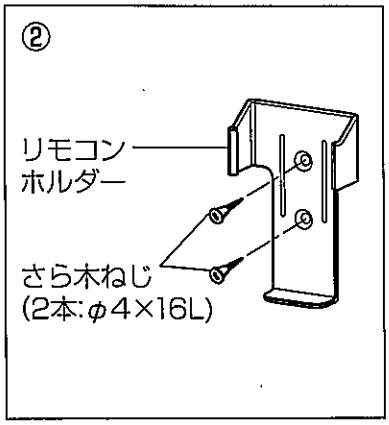
リモコンの準備をしてください

①リモコンに乾電池を入れる

●裏ぶたを開いて、
⊕ ⊖を間違えないように
入れてください。

②リモコンホルダーを取り付ける

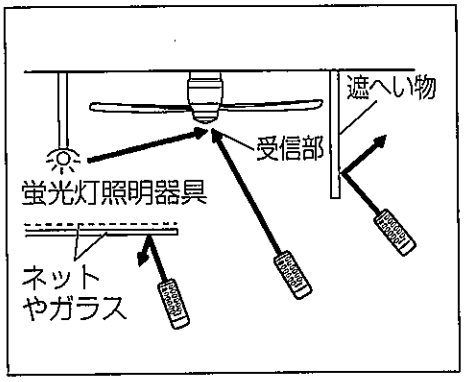




お願い ●お使いになるときは、必ずリモコンをリモコンホルダーからはずし、本体の受信部に向けて操作してください。(リモコンホルダーは保管用ですので、リモコンを差し込んだ状態でボタンを押しても本体は動作しないことがあります)

■受信部はリモコン信号（赤外線）を直接受信しますので、右図のように、信号が遮断されたり、または蛍光灯照明器具などによって、本体が受信できない場合があります。

- 受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影になるところ
- ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあるところ
- 受信部に蛍光灯照明器具の光が直接当たっているところ



お知らせ
- ●このリモコンの送信信号を、市販の学習リモコン（ラーニングリモコン）に記憶させてお使いになると、受信範囲が著しくせまくなることがあります。
- ●室温が低いとき(約10℃以下)や蛍光灯照明器具を点灯させた直後は、数分間リモコン信号を受信しない場合がありますが、故障ではありません。
- ●専用照明器具(別売品)を点灯させたときは、リモコン信号を受信しにくい場合がありますが、異常ではありません。

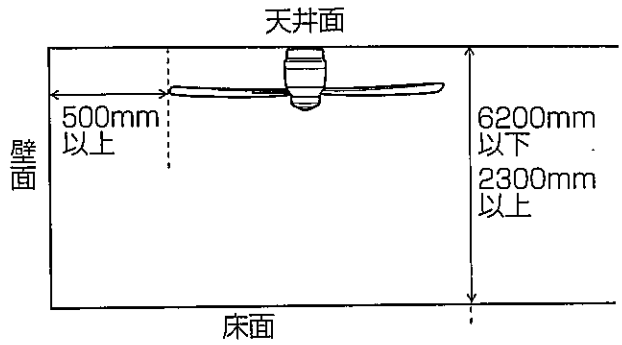
2 本体の取り付け場所を決める

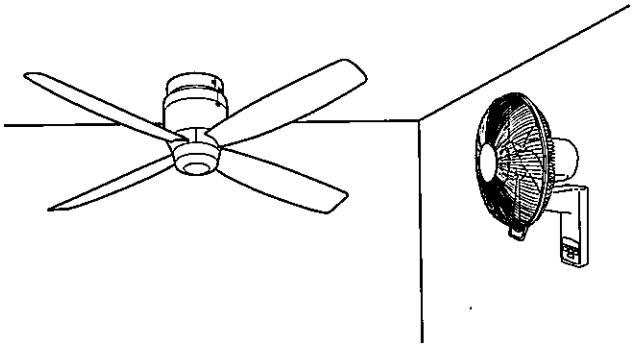
■安全上のご注意(2~3ページ)と、リモコンについて(6ページ)を考慮して、本体の取り付け場所を決めます。

■本体の取り付けは、必ず、図1の寸法が確保できるところに取り付けてください。

本体とまわりの壁面との間がせまい場合や天井が平らでない場所(掘り天井など)に取り付けた場合、空気の流れが乱れて、性能が低下したり、本体がゆれたりします。

図1





⚠注意

直接、風のあたる場所に取り付けない

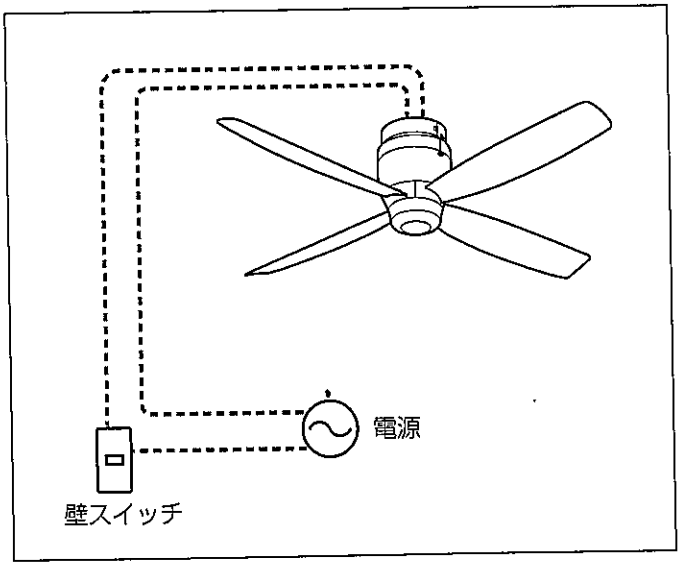
禁止

落下して、けがの原因になります。

3 壁スイッチを設置する

- リモコンで「切」にしても消費電力は、約1.4Wを消費しています。
  長時間運転しないときは、節電のため、壁スイッチを「切」にしてください。
- リモコンの紛失、電池切れ時に壁スイッチで専用照明器具(別売品)の切/入ができます。
  ただし壁スイッチでは、専用照明器具の調光はできません。
- 本体1台に対し、壁スイッチ1個を単独で接続することをおすすめします。

配線材、壁スイッチは本体に付属していませんので、市販品をお使いください。



■配線材は、φ1.6、φ2.0で、単線を使用してください。

■壁スイッチの配線は右図のようにしてください。

■壁スイッチ(またはブレーカー)を「切」にして施工してください。

取り付けるまえに

4 取付面の強度を確認する

■取付面の強度を十分に確認し、あらかじめ補強するか補強材の入っているところに取り付けます。

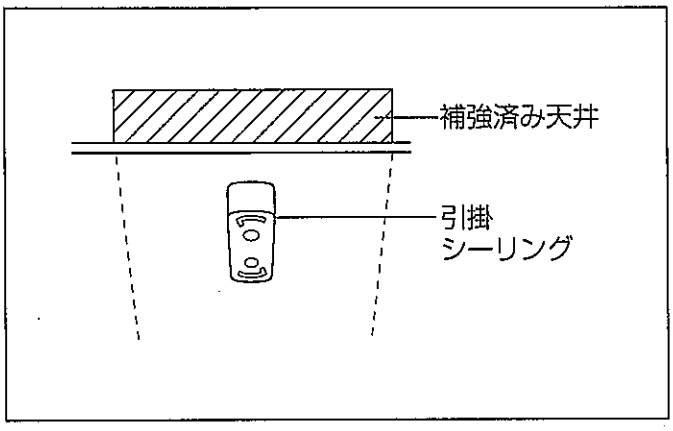
■取付場所は、専用照明器具を含めた全体の質量の約10倍の荷重に耐えられる強度を確保してください。

■天井の補強確認は、工務店にご相談ください。

⚠ 警告

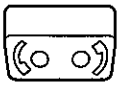
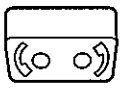
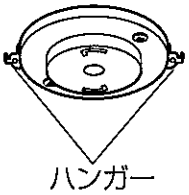
重量に耐えうる場所に確実に取り付ける

取り付けに不備があると、
落下によるけがのおそれがあります。



本体を取り付ける

1 取り付けかたを決める

<table>
<tr><td>A：引掛シーリングが取り付いていない場合
■付属の引掛シーリング
を使います。
  </td><td>⇨ 10ページ</td></tr>
<tr><td>B：すでに引掛シーリングが取り付いている場合
■角型引掛シーリング
 
■丸型引掛シーリング
 </td><td>⇨ 11ページ</td></tr>
<tr><td>■引掛ローゼット
(ハンガーあり)
 
ハンガー</td><td>⇨ 12ページ</td></tr>
</table>

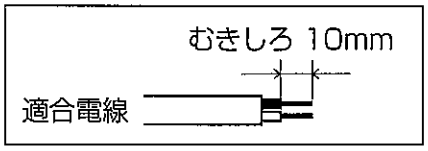
本体を取り付ける

2 取付金具を取り付ける

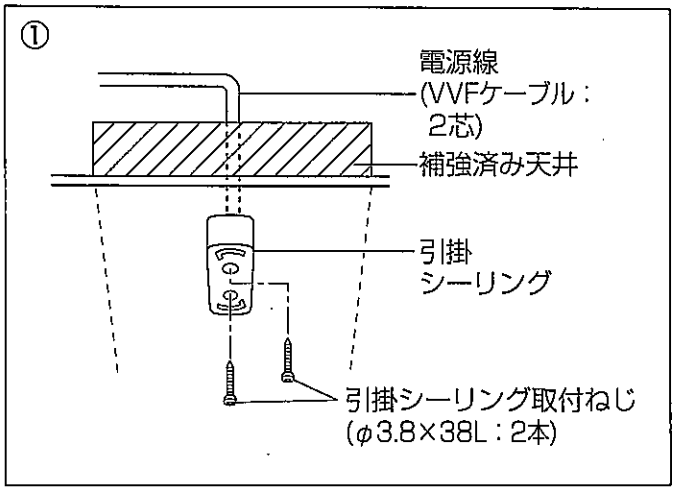
A：引掛シーリングが取り付いていない場合

①付属の引掛シーリングを取り付ける

- 取付面の強度を十分に確認し、必要な場合は、補強してください。(8ページ)
- 付属の引掛シーリングに、電源線を確実に差し込み、接続します。
  適合電線は単線のφ1.6、φ2.0です。

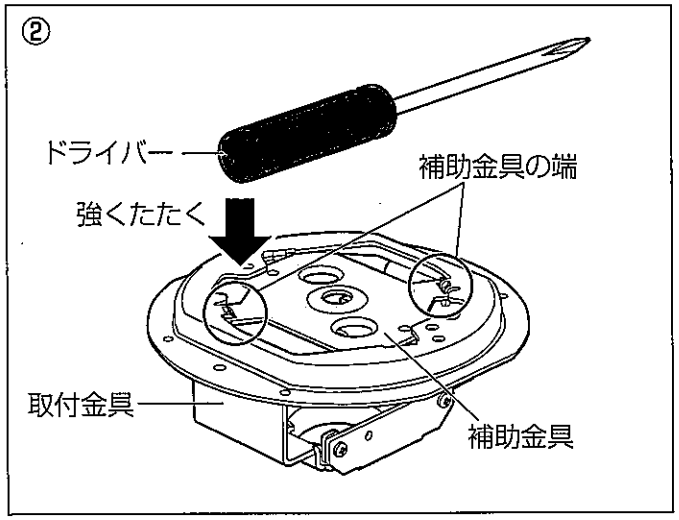


- 補強済みの天井に、付属の引掛シーリング取付ねじ(φ3.8×38L)2本で、引掛シーリングを取り付けます。



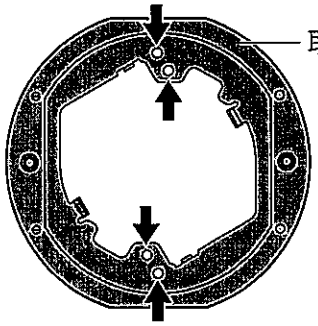
②補助金具をはずす

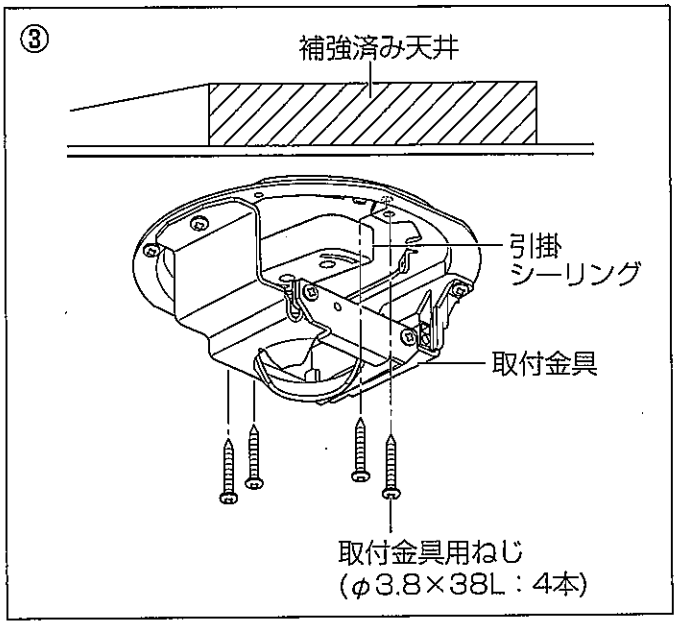
- 中央の補助金具の端(イラストの○印:2ヵ所のうち片方)をドライバーで強く叩いてはずしてください。



③取付金具を付属の取付金具用ねじ(φ3.8×38L)4本で取り付ける

- 取付金具用ねじ(4本)は取付金具の穴(矢印)に取り付けてください。(下から見た図)



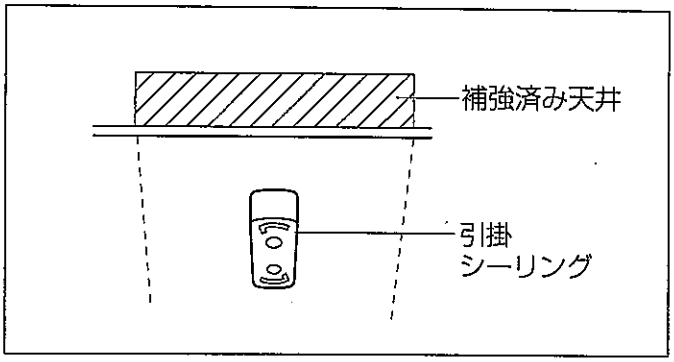


■引掛シーリングキャップは、本体をつるすまえに取り付けます。(14ページ)

B：すでに引掛シーリングが取り付いている場合〈角型、丸型引掛シーリング〉

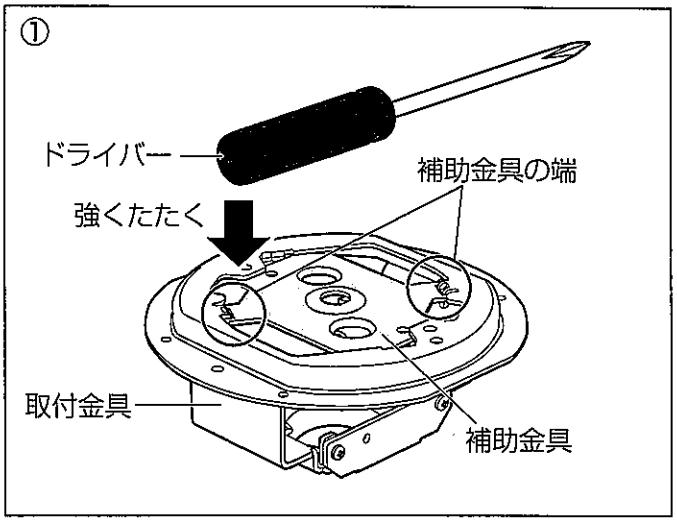
● 取付面の強度を十分に確認し、必要な場合は、補強してください。(8ページ)

(イラストは角型引掛シーリングで説明しています)



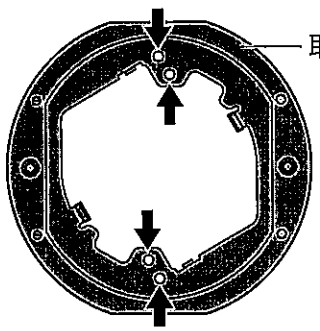
①補助金具をはずす

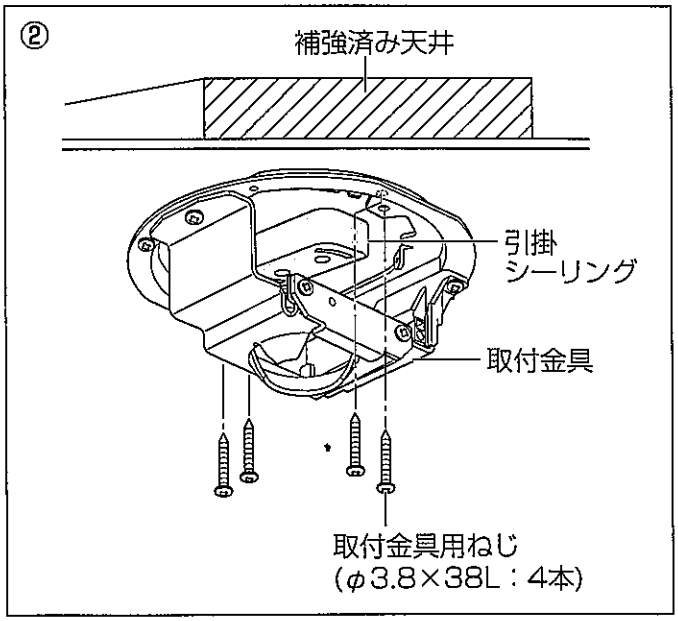
● 中央の補助金具の端(イラストの○印:2ヵ所のうち片方)をドライバーで強く叩いてはずしてください。



②取付金具を付属の取付金具用ねじ(φ3.8×38L)4本で取り付ける

● 取付金具用ねじ(4本)は取付金具の穴(矢印)に取り付けてください。(下から見た図)





■引掛シーリングキャップは、本体をつるすまえに取り付けます。(14ページ)

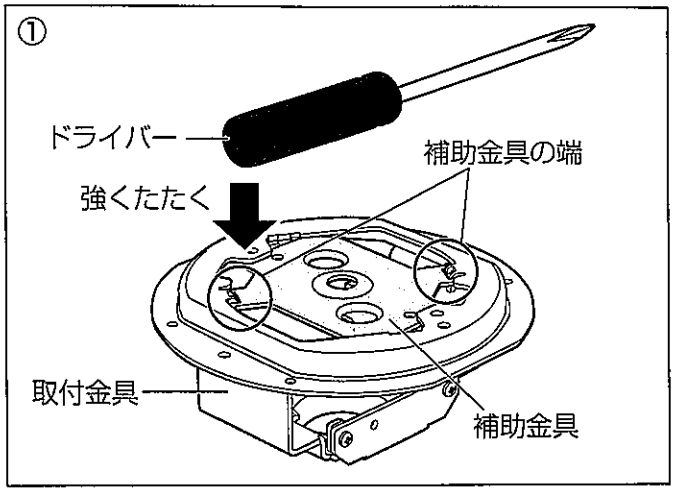
本体を取り付ける

B：すでに引掛シーリングが取り付いている場合〈引掛ローゼット(ハンガーあり)〉

● 取付面の強度を十分に確認し、必要な場合は、補強してください。(8ページ)

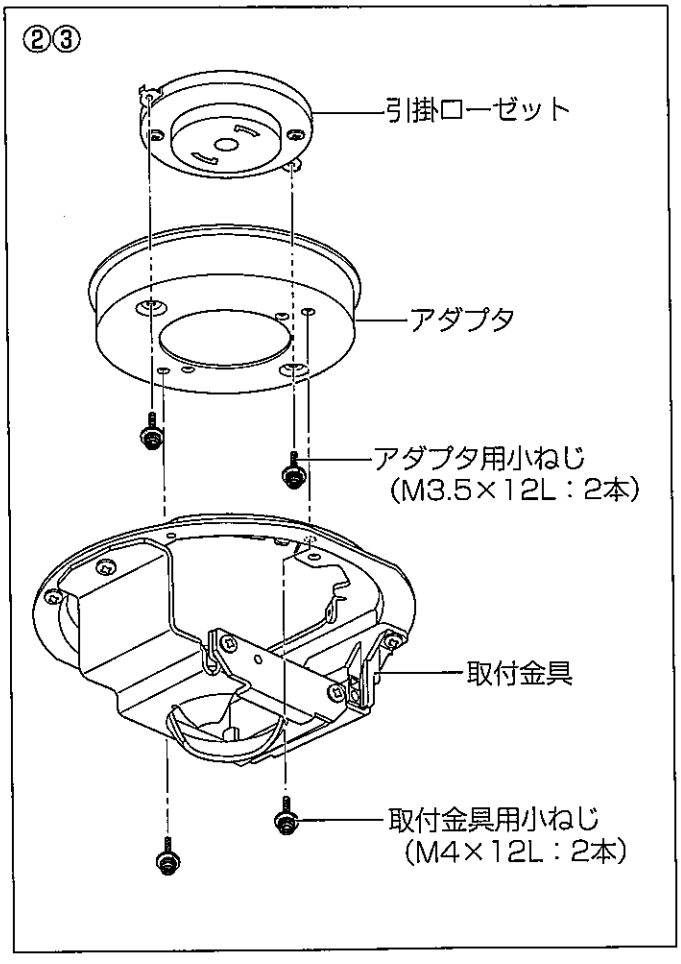
①補助金具をはずす

● 中央の補助金具の端(イラストの○印:2ヵ所のうち片方)をドライバーで強く叩いてはずしてください。

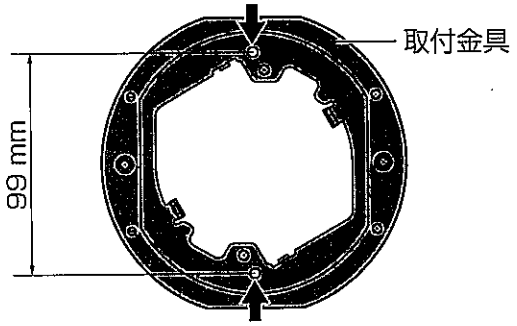


②アダプタを付属の
アダプタ用小ねじ(M3.5×12L)2本で
引掛ローゼットに取り付ける

③取付金具を付属の
取付金具用小ねじ(M4×12L) 2本で
取り付ける



● 取付金具用小ねじ(2本)は
取付金具の穴(矢印)に取り付けてください。
(下から見た図)



■引掛シーリングキャップは、本体をつるすまえに取り付けます。(14ページ)

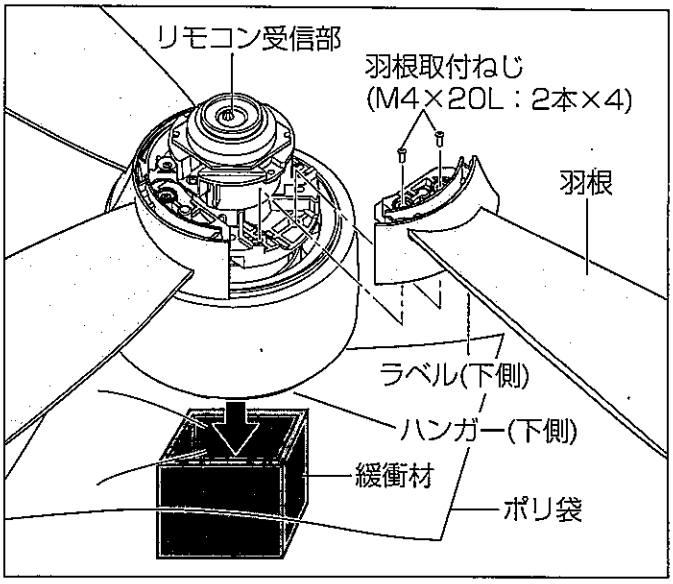
3 本体に羽根を取り付ける

①本体の下にポリ袋と緩衝材を敷く

- **リモコン受信部を上に、ハンガーを下側に向け、緩衝材の中に入れてください。**
- **必ず梱包ケースの中にある緩衝材をお使いください。**

②本体に羽根を取り付ける

- 本体に仮止めしている羽根取付ねじ(M4×20L：平座金バネ座金付)8本をそれぞれ、2本ずつ使います。
- 羽根には、裏表があります。羽根にはってあるラベルを下側にして取り付けてください。



⚠注意

禁止

羽根取付ねじは、電動工具で締めつけない

本体ねじ穴のねじ山がつぶれて羽根が落下し、けがのおそれがあります。

お願い

- 羽根は1台が4枚セットになっています。複数のシーリングファンを取り付けるときは、他のシーリングファンの羽根と混ぜて使わないでください。

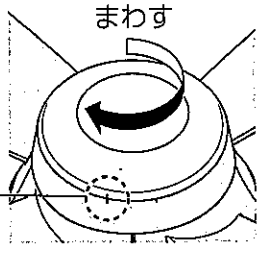
4 本体に羽根カバー、受信カバーを取り付ける

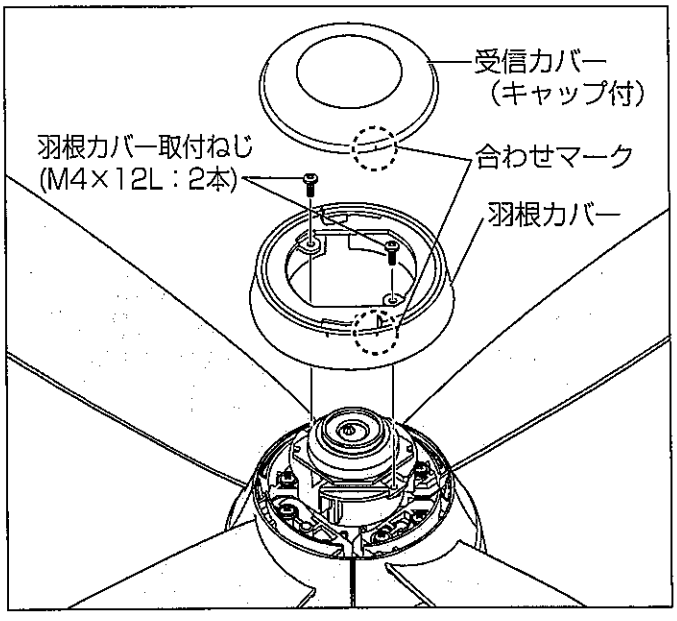
①羽根カバーを取り付ける

- 本体に仮止めしている羽根カバー取付ねじ(M4×12L)2本をはずし、羽根カバーを本体に取り付けます。

②受信カバー(キャップ付)を取り付ける

- 受信カバーの合わせマーク(｜)を羽根カバーの合わせマーク(右図)に向けて差し込みます。
- 受信カバーを左側の合わせマーク(｜)に合うまで、まわします。



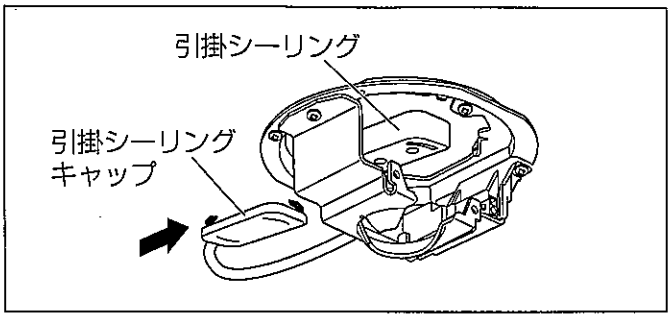


本体を取り付ける

5 引掛シーリングキャップを取り付ける

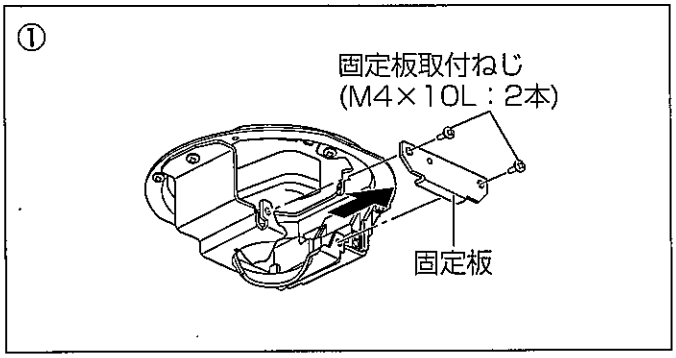
■引掛シーリング、または引掛ローゼット(ハンガーあり)に、引掛シーリングキャップを取り付けます。

(イラストは引掛シーリングで説明しています)



6 本体をつるす

①取付金具から固定板をはずす



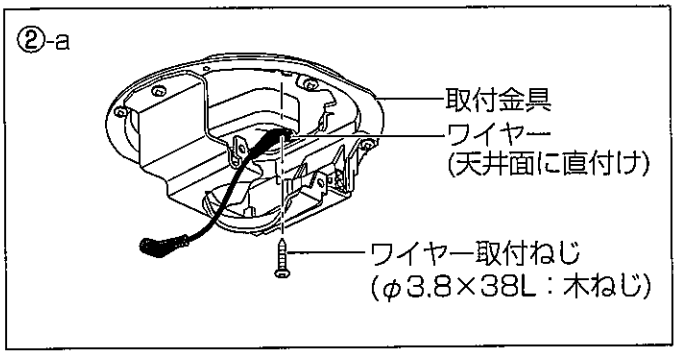
②ワイヤーを付属の取付ねじで天井側にしっかり固定する

-a：角型、丸型引掛シーリングの場合

ワイヤー取付ねじ(天井用)

(φ3.8×38L：木ねじ)を使う

● 取付金具内の天井に直付けします。

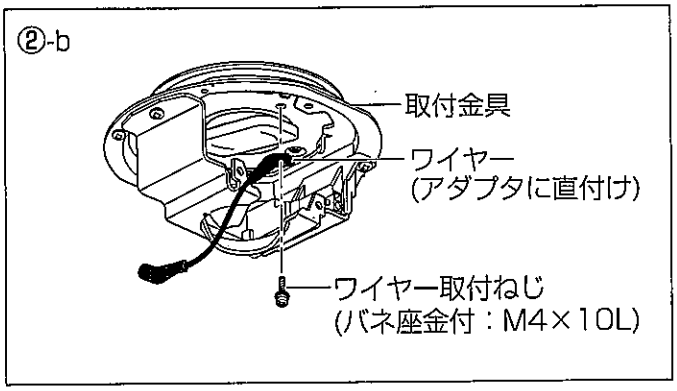


-b：引掛ローゼット(ハンガーあり)の場合

ワイヤー取付ねじ(アダプタ用)

(バネ座金付：M4×10L)を使う

● アダプタに直付けします。



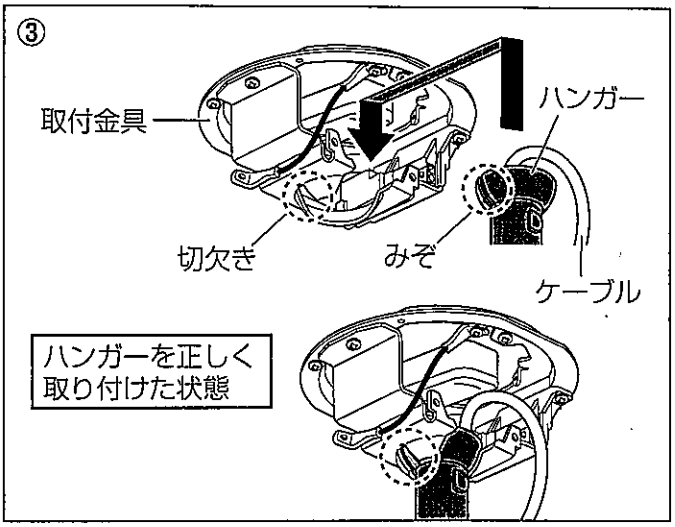
③取付金具にハンガーを取り付ける

本体を持つときは、羽根部分を持たないでください。羽根先端の高さが狂い、振れの原因になります。

ケーブルを持って本体をつり下げたり、持ち運んだりしないでください。

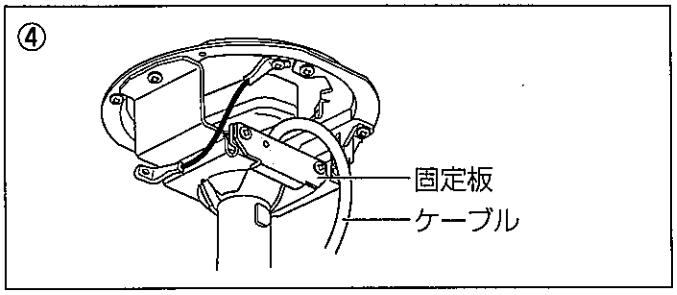
- ハンガーのみぞは、必ず取付金具の切欠きに合わせてください。

みぞが切欠きにはまっていない場合は、揺れ、異常音の原因になります。



④固定板を再び取付金具に取り付ける

- ケーブルは固定板の外側に出します。

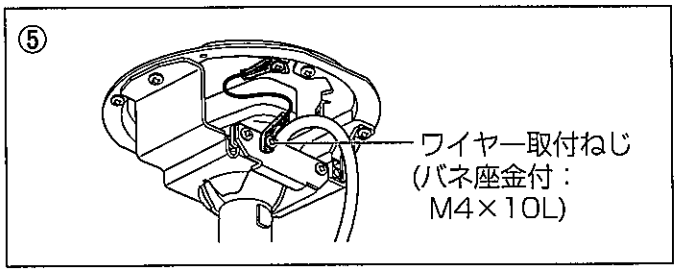


⑤ワイヤーを付属のワイヤー取付ねじ(固定板用)(バネ座金付：M4×10L)で固定板にしっかり固定する

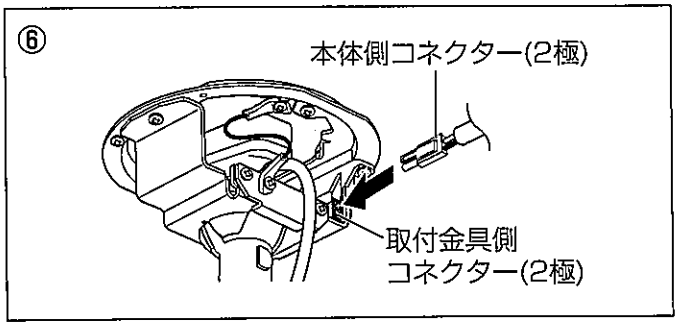
⚠注意

ワイヤーは必ず取り付ける

落下して、けがの原因になります。



⑥本体のコネクター(2極)を取付金具のコネクターに接続する



「本体をつるす」作業は終わりです。下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

		確認
チェック	①ハンガーのみぞは必ず取付金具の切欠きに合わせること	☐
	②固定板は必ずねじ2本で取り付けること	☐
	③ワイヤーは必ず取り付けること	☐
	④本体側コネクター(2極)を取付金具側コネクターに接続すること	☐

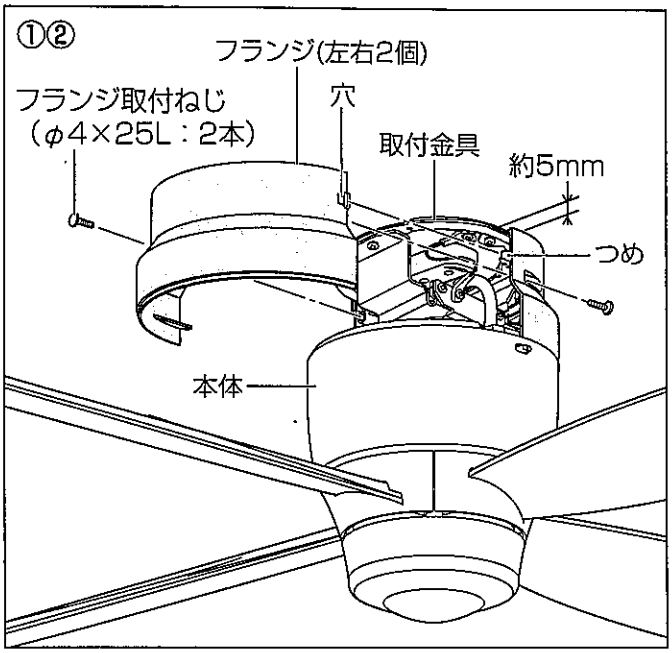
本体を取り付ける

7 フランジを取り付ける

①取付金具の形状に合わせて、フランジを両側からはさみ込む

- つめと穴がはまり合います。(2カ所)
- 天井とのすき間は約5mmあきます。(天井と接触し、振動しないため)

②フランジを付属のフランジ取付ねじ(φ4×25L)2本でしっかり固定する



下記の点を確認して、次の作業に進んでください。

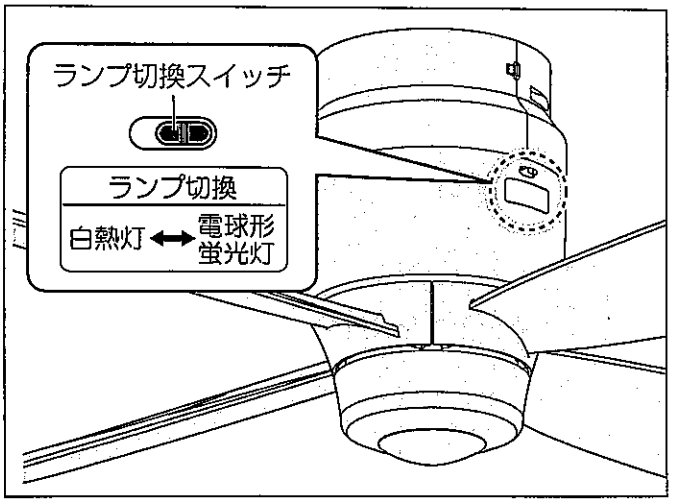
		確認
チェック	①フランジは必ず取付ねじで固定されていること	☐
	②フランジは本体の上部に乗り上げていないこと	☐

ランプ切換スイッチについて

■お使いになるランプに合わせて、
ランプ切換スイッチを設定してください。

- お買い上げ時は、ランプ切換スイッチが「電球形蛍光灯」側です。

■白熱灯の場合は調光機能がありますので、
「白熱灯」側に切り換えてください。
設定を間違えると、リモコン操作で明るさ調節ができなくなります。



お願い

●電球形蛍光灯をお使いのときは、ランプ切換スイッチを「白熱灯」側にしないでください。
故障の原因となることがあります。

取り付け後の点検

＜取り付け後は、必ず、下記の点検・確認をしてください＞

確認

①取付金具と天井面の取り付けにガタつきはないか ……

■ガタつきがあるとき

- 取付金具を取り付けるねじがしっかり締めつけられているか

確認

②始動して数分後にモーターに、横揺れや振動がないか ……

■横揺れ、振動があるとき

- 羽根取付ねじがしっかり締めつけられているか
- 羽根が変形していないか
- ハンガーのみぞの位置が取付金具の切欠きと合っているか

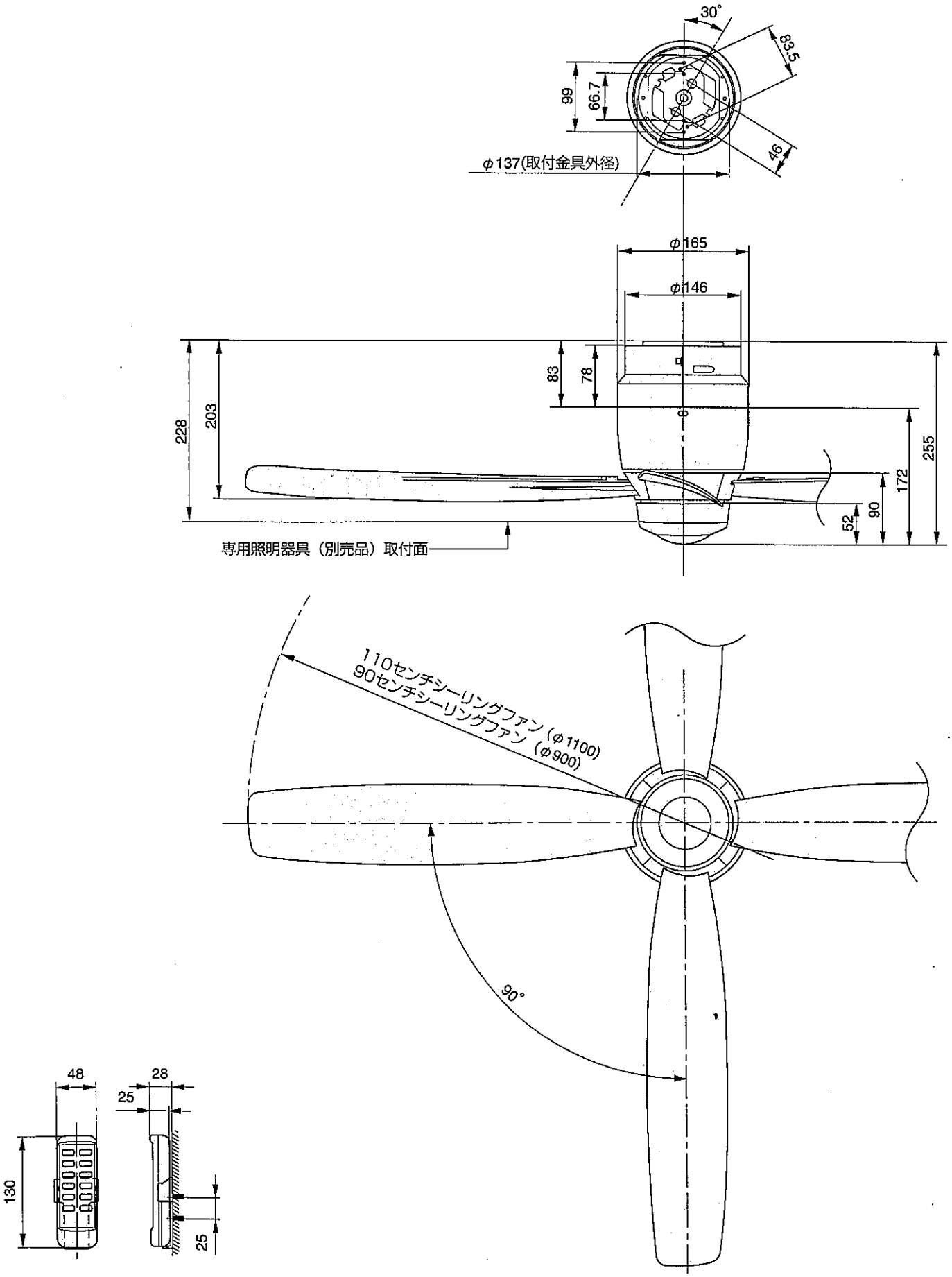
お知らせ
- 取り付けが確実であっても、羽根の回転により、横揺れ（2～3mm）が残る場合がありますが、故障ではありません。

確認

③リモコン操作と本体の動作は正常か ……

■取扱説明書の「運転のしかた」を参照し、壁スイッチを「入」にして、各動作確認をする

外形寸法 (単位：mm)


30°
83.5
99
66.7
46
φ137(取付金具外径)
φ165
φ146
83
78
228
203
255
172
90
52
専用照明器具（別売品）取付面
110センチシーリングファン（φ1100）
90センチシーリングファン（φ900）
90°
48
28
25
130
25

仕様

●風量が「強」、風向が「下向き」のときの値です。

品　番	電・圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	回転数 (r/min)	風　速 (m/sec)	風量 (m^3/h)	本体質量※ (kg)
SP7070 SP7072 SP7073	100	50/60	12/12	115/115	1.7/1.7	5,380/5,380	3.3
SP7075 SP7077 SP7078	100	50/60	5/5	115/115	1.4/1.4	4,020/4,020	3.1

●リモコンで運転「切」のときの消費電力は約1.4Wです。
※本体質量は、アダプタとリモコンを除いた質量です。

パナソニック電工株式会社
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

SP7708912B
K0808Y2